

# ケガ(すり傷、切り傷、やけどなど)

形成外科は傷を治すことにかけては専門家です。普通に治療するよりもはるかに早くきれいに治すことができます。

昔は「傷は乾かした方が早く治る」と言われていましたが、それは大きな間違いです。

適度にうるおいがあった方が早く治ります。無理やりガーゼをはがしたりしませんので痛みが非常に少なく、子供さんもあまり泣いたりしません。



傷を縫う時も、細い糸で丁寧に縫うので、傷あとがあまり目立たなくなります。



# 手足のけが・皮膚欠損・切断指(マイクロサージャリー)

形成外科は顕微鏡を用いた微小血管吻合の技術(マイクロサージャリー)を利用し、様々な外傷や組織移植治療を行っています。

切断指、四肢開放骨折後の組織欠損など、緊急を要する外傷にも対応しています。

整形外科医師と協力し早期治療を行うことで合併症の予防や社会復帰を目指しています。

## 下腿開放骨折 組織欠損例



術前



術後

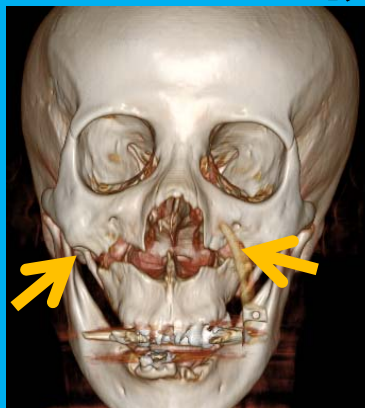
## 顔面外傷

顔面の骨の骨折やそれによる変形(鼻骨・頬骨・上顎骨・前頭骨・下顎骨・眼窩壁骨折など)

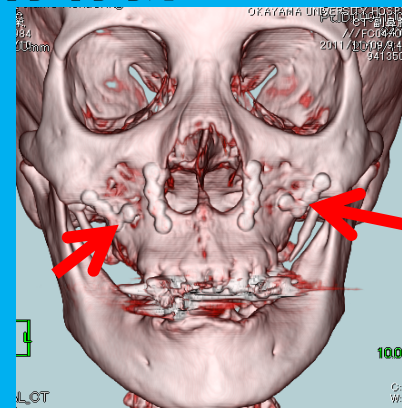
## 上顎骨骨折

交通事故、スポーツ、転倒などで顔をぶついたりして生じます。耳鼻科、脳神経外科、眼科、整形外科と連携し治療を行っています。

確実な整復・固定とともに、手術の傷が目立たないように様々な工夫をして加療をおこなっています。



術前



術後